

兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム） 研究結果概要

□研究プロジェクトの概要

研究プロジェクト名	タマネギの高品質安定生産に向けた「たまねぎ栽培総合アプリ」の可能性調査
代表機関	一般社団法人スマートな島ぐらし推進協議会
共同研究チーム構成機関	兵庫県立農林水産技術総合センター、神戸大学、神戸デジタル・ラボ、フィールドコム
研究分野	可能性調査・研究

□研究結果の概要

<p>【①研究プロジェクトの概要、特色】</p> <p>「たまねぎ栽培総合アプリ」の構築に向けて、淡路島内の農業者および香川県、佐賀県、長崎県の農業関係者（県農業試験場、県普及指導センター、農協等）に対して、ヒアリング調査を実施し、「たまねぎ栽培総合アプリ」に必要なニーズを調査するとともに、アプリの機能を整理した。</p> <p>また、淡路農業技術センターにおいて、べと病およびネギアザミウマの調査および土壌水分、ECの調査を行った。</p> <p>さらに、たまねぎ収穫量と気象データの相関関係について調査した。</p>
<p>【②研究の成果】</p> <p>「たまねぎ栽培総合アプリ」のヒアリングの結果、農作業の備忘通知機能や病虫害防除の呼びかけ機能のニーズが高く、価格帯は平均値で月額 358 円程度であった。</p> <p>また、たまねぎ収穫量と気象データの解析結果では、晩生種「もみじ3号」では湿度が、中生種「ターザン」では気圧や風速の相関が高かった。</p> <p>淡路農業技術センター内で病虫害の調査を行なったが、発生は少なかった。土壌水分、ECの調査結果では、従来の土壌採取による実測値調査方法と比例関係を示し、今回試験した挿入式センサーの有効性が確認できた。</p> <p>以上の調査結果をもとに「たまねぎ栽培総合アプリ」に必要な機能を整理した。</p>
<p>【③本格的な研究への展開】</p> <p>「たまねぎ栽培総合アプリ」に必要な機能が整理されたため、その機能を充実させるため、タマネギの生育と病虫害の発生状況、土壌環境等の関係を調査研究する必要がある。</p>
<p>【④今後の事業化に向けた展開】</p> <p>上記機能を搭載した「たまねぎ栽培総合アプリ」を開発し、農業者に提供する。</p>
<p>【⑤地域的波及効果】（技術基盤強化等の効果、地域社会・経済発展への寄与）</p> <p>「たまねぎ栽培総合アプリ」を開発することで、たまねぎの安定多収高品質栽培が実現されるとともに、農業者の所得向上効果が期待できる。</p>